

平成29年度第20回ヨコハマe アンケート

横浜市民の読書活動推進に関するアンケート

実施期間 平成30年2月16日（金）から3月2日（金）

事業所管課 教育委員会事務局 生涯学習文化財課

年代別・性別のメンバー数／構成比

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	計
男性	22 (0.6%)	73 (2.1%)	246 (7.1%)	464 (13.3%)	329 (9.4%)	357 (10.2%)	204 (5.9%)	2 (0.1%)	1,697 (48.7%)
女性	15 (0.4%)	159 (4.6%)	622 (17.9%)	548 (15.7%)	294 (8.4%)	110 (3.2%)	30 (0.9%)	0 (0.0%)	1,778 (51.0%)
不明	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.1%)	2 (0.1%)	3 (0.1%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (0.2%)
計	37 (1.1%)	232 (6.7%)	870 (25.0%)	1,014 (29.1%)	626 (18.0%)	468 (13.4%)	234 (6.7%)	2 (0.1%)	3,483 (100.0%)

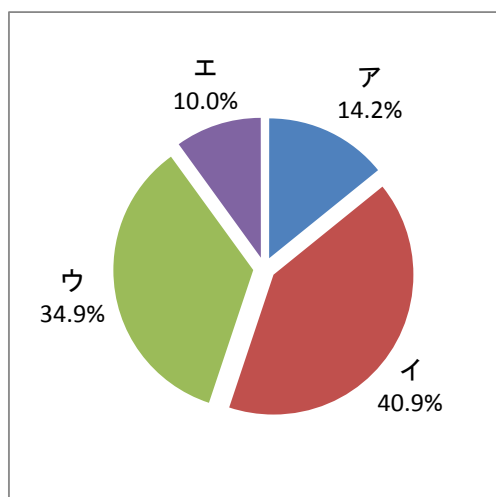
年代別・性別の回答者数／回答率

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	計
男性	2 (9.1%)	16 (21.9%)	57 (23.2%)	173 (37.3%)	143 (43.5%)	214 (59.9%)	130 (63.7%)	1 (50.0%)	736 (43.4%)
女性	1 (6.7%)	13 (8.2%)	127 (20.4%)	145 (26.5%)	109 (37.1%)	45 (40.9%)	14 (46.7%)	0 (0.0%)	454 (25.5%)
不明	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (25.0%)
計	3 (8.1%)	29 (12.5%)	184 (21.1%)	318 (31.4%)	253 (40.4%)	260 (55.6%)	144 (61.5%)	1 (50.0%)	1,192 (34.2%)

Q1 あなたは、年間にどのくらい本を読みますか（電子書籍も含む）。教科書や雑誌等は除いてお答えください。
（単一選択）

n= 1,192

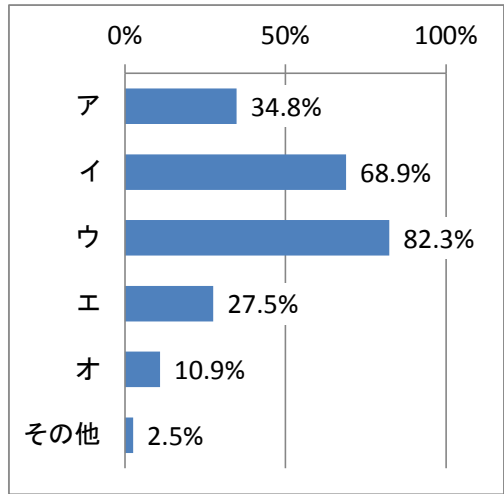
ア	週に数冊程度	14.2%	169
イ	月に数冊程度	40.9%	488
ウ	年に数冊程度	34.9%	416
エ	読まない	10.0%	119
		100.0%	1,192



Q2 Q1でア～ウを選んだ方にお聞きします。あなたが本を読む目的・理由は何ですか。(複数選択可)

n= 1,073

ア	生活の中での疑問・課題を解決するため	34.8%	373
イ	新しい知識を得るため	68.9%	739
ウ	楽しみ・娯楽のため	82.3%	883
エ	仕事などで調べものをするため	27.5%	295
オ	教育やしつけなどのため	10.9%	117
その他		2.5%	27



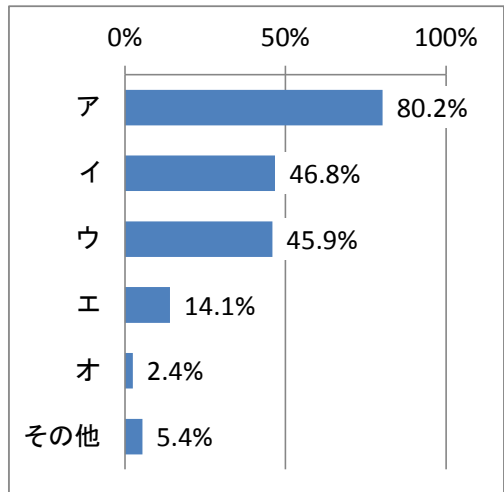
その他(抜粋)

時代のトレンドを知るため。
交通機関内での時間つぶし
老化防止

Q3 Q1でア～ウを選んだ方にお聞きします。あなたが本を読みたいとき、購入・利用するのはどこですか。(複数選択可)

n= 1,073

ア	書店	80.2%	861
イ	インターネット書店	46.8%	502
ウ	横浜市立の図書館(はまかぜ号を含む)	45.9%	493
エ	地区センター等の図書室	14.1%	151
オ	学校図書館	2.4%	26
その他		5.4%	58



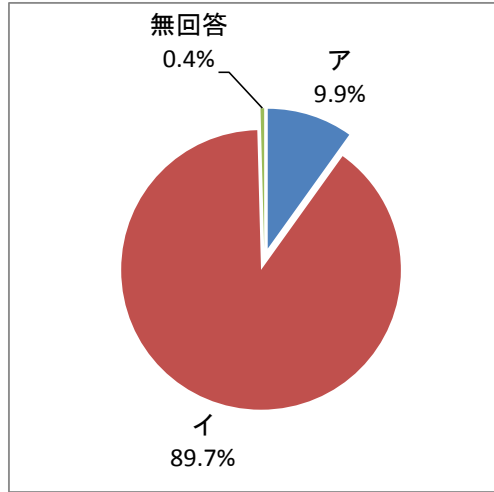
その他(抜粋)

古書店
他市の図書館
知人に借りる。

Q4 全員にお聞きします。横浜市では「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」や「横浜市民読書活動推進計画」を策定し、読書活動の推進に力を入れています。そのことについて知っていますか。(単一選択)

n= 1,192

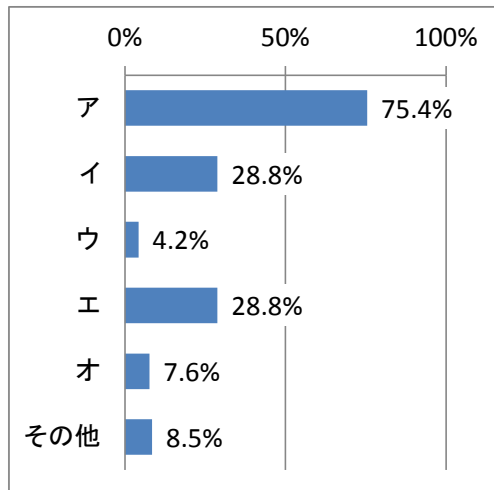
ア	知っている	9.9%	118
イ	知らない	89.7%	1,069
無回答		0.4%	5
		100.0%	1,192



Q5 Q4でアと答えた方にお聞きします。それはどこで知りましたか。(複数選択可)

n= 118

ア	広報よこはま	75.4%	89
イ	横浜市ホームページ	28.8%	34
ウ	教育委員会ホームページ	4.2%	5
エ	区役所等で配布しているリーフレット	28.8%	34
オ	家族や知人から聞いた	7.6%	9
その他		8.5%	10



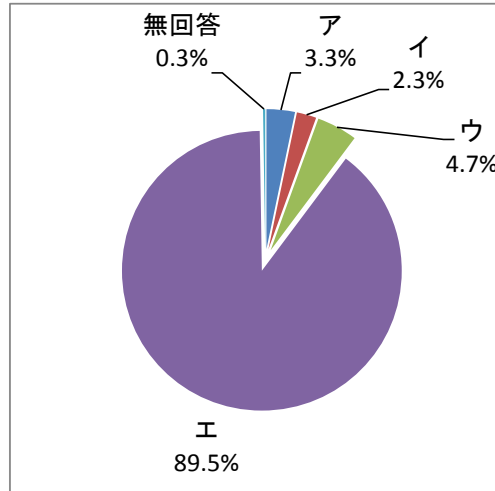
その他(抜粋)

子供が持ってくる学校の配布物
地区センターや図書館

Q6 全員にお聞きします。条例により、毎月23日は「市民の読書の日」、11月は「市民の読書活動推進月間」と定められていることを知っていますか。(単一選択)

n= 1,192

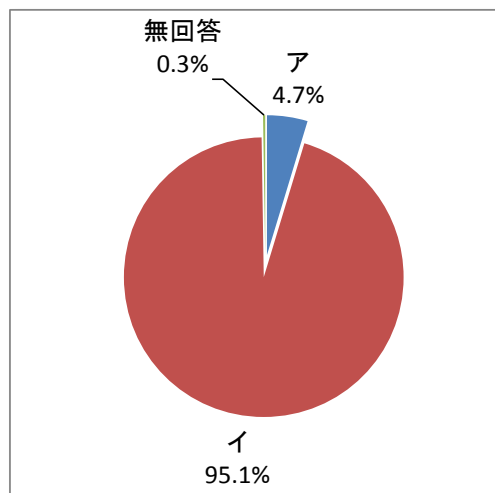
ア	両方知っている	3.3%	39
イ	「市民の読書の日」だけ知っている	2.3%	27
ウ	「市民の読書活動推進月間」だけ知っている	4.7%	56
エ	知らない	89.5%	1,067
無回答		0.3%	3
		100.0%	1,192



Q7 各区では、区の地域性に応じた読書活動を推進するための活動目標を策定しています。そのことについて知っていますか。(単一選択)

n= 1,192

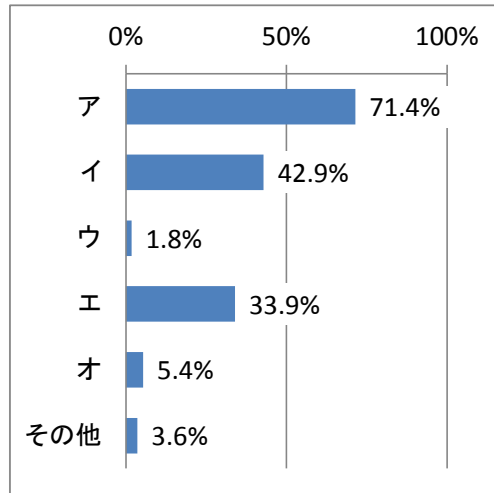
ア	知っている	4.7%	56
イ	知らない	95.1%	1,133
無回答		0.3%	3
		100.0%	1,192



Q8 Q7でアと答えた方にお聞きします。それはどこで知りましたか。(複数選択可)

n= 56

ア	広報よこはま	71.4%	40
イ	横浜市ホームページ	42.9%	24
ウ	教育委員会ホームページ	1.8%	1
エ	区役所等で配布しているリーフレット	33.9%	19
オ	家族や知人から聞いた	5.4%	3
その他		3.6%	2



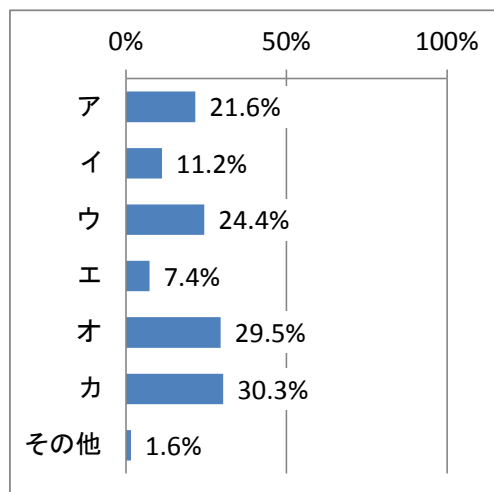
その他(抜粋)

図書館

Q9 全員にお聞きします。「横浜市民読書活動推進計画」では次のような取組を重点項目として掲げています。平成26年以降、あなたが充実したと感じるものを選んでください。(複数選択可)

n= 1,192

ア	読み聞かせや子どもの本の紹介など、子どもの読書機会	21.6%	258
イ	読書イベントや読書に関するボランティアの支援など、大人の読書機会	11.2%	134
ウ	図書館の機能強化や蔵書の充実など、読書活動の拠点の強化と連携	24.4%	291
エ	地域の読書活動団体との連携など、区の地域性に応じた読書活動	7.4%	88
オ	特になし	29.5%	352
カ	わからない	30.3%	361
その他		1.6%	19



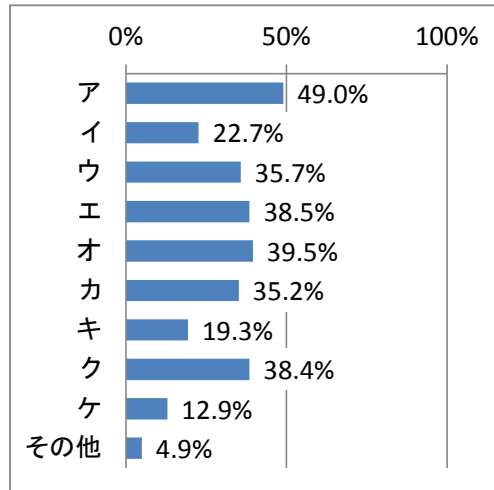
その他(抜粋)

横浜市在住者等が藤沢市や大和市等の図書館も利用出来るようになり大変重宝している。学校での読み聞かせは子供たちが気に入っていて楽しみにしています。そのような活動の事なら良いと思います。

Q10 Q9の選択肢にある「子どもの読書機会」を充実させるため、横浜市では次のような取組を進めることとして
います。あなたが充実してほしいと感じるものを選んでください。(複数選択可)

n= 1,192

ア	幼稚園・保育所等での子どもへの読み聞かせ	49.0%	584
イ	保護者向けの読み聞かせ講座や啓発	22.7%	270
ウ	図書館等での子どもの本の紹介	35.7%	426
エ	幼稚園・保育所等での絵本環境の充実	38.5%	459
オ	学校図書館を活用した授業の実施	39.5%	471
カ	学校での一斉読書活動(朝の読書など)の充実	35.2%	419
キ	学校と学校図書館ボランティアの協働	19.3%	230
ク	児童生徒にとって親しみやすい学校図書館づくり	38.4%	458
ケ	特になし	12.9%	154
その他		4.9%	59



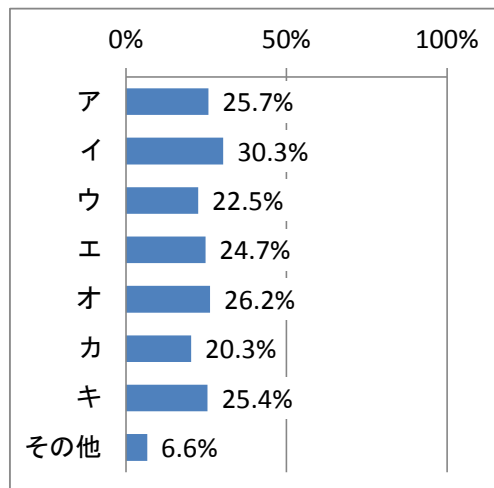
その他(抜粋)

学校図書館の予算の充実
図書館の子どもコーナーの充実
幼稚園、保育園での読み聞かせと学校図書館の充実を図ることは勿論であるが、その前に保護者自身が読書に対する意識を向上させること。
幼稚園・保育所等行っていない子への読み聞かせ

Q11 Q9の選択肢にある「大人の読書機会」を充実させるため、横浜市では次のような取組を進めることとして
います。あなたが充実してほしいと感じるものを選んでください。(複数選択可)

n= 1,192

ア	毎月23日「市民の読書の日」や11月「市民の読書活動推進月間」を活用したイベント	25.7%	306
イ	区民まつりなどのイベントを利用した読書の普及啓発	30.3%	361
ウ	高齢者や障害のある方を対象とした読書活動支援	22.5%	268
エ	本を介して人との交流が生まれる取組(ビブリオバトルなど)	24.7%	295
オ	読書に関するボランティアを始めるきっかけとなる機会の充実	26.2%	312
カ	読書に関するボランティアをしている人への支援	20.3%	242
キ	特になし	25.4%	303
その他		6.6%	79



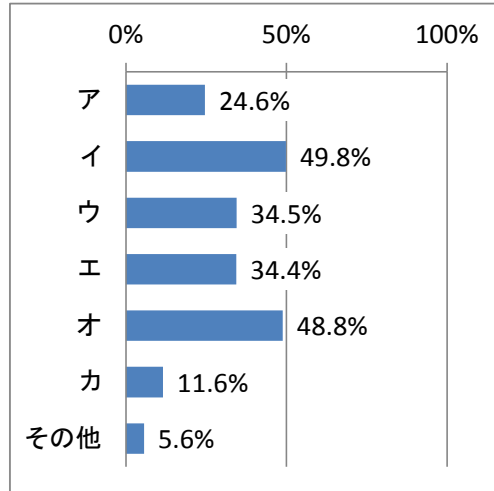
その他(抜粋)

居住地近隣の小中学校の図書館を一般開放してほしい。
交流を生み出すイベントの開発 ビブリオバトルだけでなく… メディアと連携した取り組みやSNSを利用してはどうか。
書店と図書館のコラボ

Q12 Q9の選択肢にある「読書活動の拠点の強化と連携」を充実させるため、横浜市では次のような取組を進めることとしています。あなたが充実してほしいと感じるものを選んでください。(複数選択可)

n= 1,192

ア	図書館の調査研究機能の強化	24.6%	293
イ	地域ニーズに合わせた、図書館の蔵書の充実	49.8%	594
ウ	地域の歴史や文化に関する情報の収集	34.5%	411
エ	貴重資料のデジタル化や、電子書籍などによる情報提供	34.4%	410
オ	区役所や図書館、市民利用施設等の連携	48.8%	582
カ	特になし	11.6%	138
その他		5.6%	67



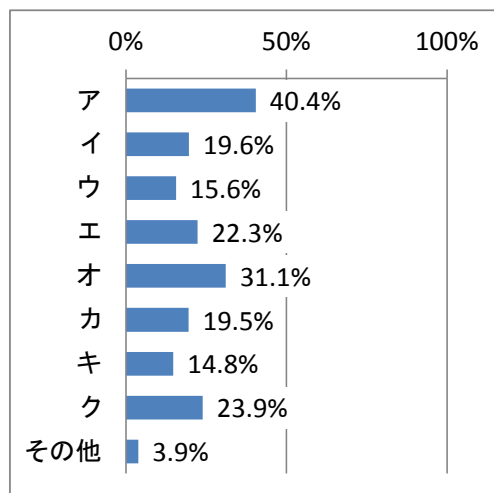
その他(抜粋)

図書館が近所がない地域へは商業施設での貸し出し、返却業務を充実してほしい。
図書館の増設

Q13 Q9の選択肢にある「区の地域性に応じた読書活動」のため、横浜市では次のような取組を進めることとしています。あなたの住んでいる地域で充実してほしいと感じるものを選んでください。(複数選択可)

n= 1,192

ア	読書マップ等による地域の読書施設の情報提供	40.4%	482
イ	日本語を母語としない人も読書に親しめる取組	19.6%	234
ウ	読書活動団体のネットワークづくり	15.6%	186
エ	読書ボランティアの広報紙での紹介	22.3%	266
オ	学校と地域の連携	31.1%	371
カ	自治会町内会での読書活動	19.5%	233
キ	地域の企業や商店街での読書活動	14.8%	176
ク	特になし	23.9%	285
その他		3.9%	46



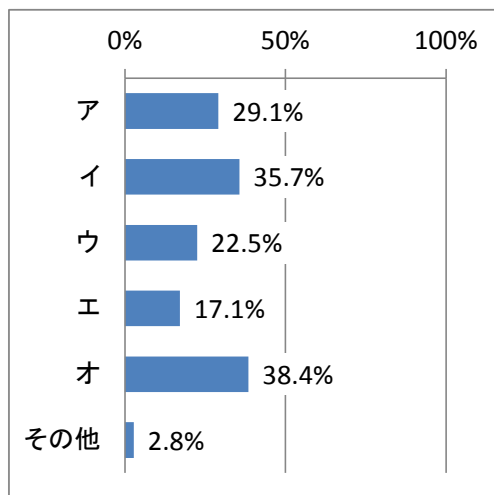
その他(抜粋)

地域ケアプラザと連携して、地域交流を含めて読書機会を増やす。
図書館内に置いてあるお勧め図書リストなどを駅や地区センターなどにも置いて欲しい。

Q14 横浜市では、乳幼児から高齢者まで全ての市民を対象とした読書活動の推進をしており、その中で市民によるボランティア活動を積極的に受け入れています。次のボランティア活動のうち、参加してみたいもの、あるいは参加しているものは何ですか。(複数選択可)

n= 1,192

ア	図書館(学校図書館等の施設を含む)の飾りつけ・書架の整理などの環境	29.1%	347
イ	図書館(学校図書館等の施設を含む)の本の修理ボランティア	35.7%	425
ウ	こどもを対象とした読み聞かせ等ボランティア	22.5%	268
エ	高齢者・障がいのある方への読み聞かせ・朗読ボランティア	17.1%	204
オ	特になし	38.4%	458
その他		2.8%	33



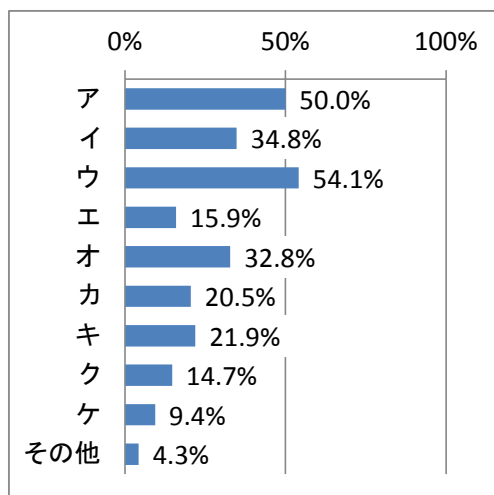
その他(抜粋)

外出や書籍検索などのしづらい方への本選びや購入のお手伝い
図書館や本の紹介、広報

Q15 全員にお聞きします。横浜市の読書活動推進に今後期待することは何ですか。(複数選択可)

n= 1,192

ア	子どもの読書機会の充実	50.0%	596
イ	大人の読書機会の充実	34.8%	415
ウ	図書館や読書関連施設の機能強化	54.1%	645
エ	区の地域性に応じた読書活動の推進	15.9%	190
オ	市民一人一人が身近な地域で読書に親しめる取組	32.8%	391
カ	学校と地域が連携した取組	20.5%	244
キ	本を介して人との交流が生まれる取組	21.9%	261
ク	読書以外のジャンルと連携した取組	14.7%	175
ケ	特になし	9.4%	112
その他		4.3%	51



その他(抜粋)

学校司書をもっと重要視した政策
読書といって紙の本に拘る時代ではない。ネットなどを用いて広い意味での情報の収集と発信を行ってほしい。
良書のさまざまな紹介イベント

**Q16 横浜市の読書活動推進について、ご意見があればお書きください。
(自由意見)**

(抜粋)

「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」や「横浜市民読書活動推進計画」、毎月23日「市民の読書の日」や11月「市民の読書活動推進月間」などの活動は全く知りませんでした。せっかくこうした素晴らしい活動を行っているのであれば、もっと積極的かつわかりやすく広報、告知活動を行い、市民への周知徹底を図るべきだと思います。
教育現場の図書室を活用した市民活動をもっと推進すべきと思います。
市民から読まなくなった書籍の受入をもっと拡大すべき。
図書館で落ち着いて本を読めるようにしてもらえるとありがたいです。現状は座席が足りていないように思います。
青葉区でビブリオバトルの活動をしています。ボランティア参加ですが、活動に際しての行政の補助(活動場所や図書購入費など)があるとよいなあと思います。
読書は小さい頃からの「楽しい」「わくわく」といった体験がその後に引き続く面が大きいように感じるので、こども達が絵本や児童文学に接する機会がさらに増え、もちろん本に親しむ大人も増える流れを望みます。
読書は良いことだと思いますが、大人が読書することを推進する活動を市がする必要があるのかな？と思ってしまいます。
保護者でなく、読み聞かせのボランティアをしている地域の方、たくさんいます。その方たちへの、講習会などの企画をお願いします。
毎日のように図書館に行きますが、蔵書が少ない。もう少し幅広くあればいいのにと感じます。



ヨコハマeアンケート

平成 29 年度 第 20 回アンケートの「その後」

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどう活用しているのかなど、アンケートの「その後」をご紹介します。



横浜市民の読書活動推進に関するアンケート (平成 30 年2月実施) 担当 教育委員会事務局 生涯学習文化財課

アンケートの回答を事業に反映した事例、又は反映する予定

今回いただいたご意見を参考に、事業の広報媒体や内容、また充実すべき取組について、読書活動推進計画の改定の中で検討していきます。

アンケートを実施しての感想

- ・横浜市は条例や計画を策定し読書活動を推進していますが、全体のおよそ 90%の方がご存じでなかったことから、より効果的な広報手段を、検討する必要があることが分かりました。
- ・「大人の読書機会」の充実に向けて、区民まつりなどのイベントを利用した読書の普及啓発を期待する声等が多く、子どもの読書についてだけではなく、大人の読書についても様々なご要望があることが分かりました。

担当部署から登録メンバー様へのメッセージ

このたびは、アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

本市の「読書活動推進事業」を初めて知った方も多くいらっしゃった中で、たくさんのご意見をいただくことができ、大変参考になりました。地域全体で読書活動を推進し、より多くの方に読書に親しみ、読書に楽しんでいただくという、読書活動推進計画のねらいの達成に向けて、引き続き努めていきます。

ヨコハマeアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。